

IV. 資料編

● あ行 ●

エコミュージアム

自然環境、文化財や史跡、地場産業などを未来に引き継いでいくべき地域の資源と捉え、それらの保存、調査・研究や来訪者への説明などの活動を、現地で住民が主体となって行うことにより、地域全体を「屋根のない博物館」に見立てようとするもの。

NPO

Non-Profit-Organization の頭文字をとったもので、非営利民間組織などと訳される。福祉、災害支援、地域づくりなどのさまざまな分野で、非営利で活動をおこなう市民組織のこと。広義には公益法人全般を含むが、法律により NPO 法人として認定された団体を意味することが多い。

● か行 ●

環境共生型のまちづくり

自然との共生の観点を含め、経済活動やくらしのあり方を見直し、住民、企業、行政の協働で、環境への負荷の軽減や省資源、省エネルギー、リサイクル、さらに水循環などの取組みを通じて、社会全体を環境保全型へと変えていくまちづくりのこと。

観光まちづくり

地域の特色を生かし、誇りを持ってくらし続けられるまちを育てることが、結果として、地域を訪れる人の楽しみや交流につながる新しい観光のあり方のこと。こうした観光では、地域の自然や景観、文化、くらしの風景などが観光資源となる。

協働のまちづくり条例

住民、事業者、行政などとの協働によってまちづくりをすすめる上でのルールを定めた条例のことで、協働の考え方や主体、それぞれの役割や協働の手法などを明確にするもの。

協働のまちづくり指針

斑鳩らしい協働のあり方や協働の目的、協働の主体やこれらを支える人材、情報、財源、拠点、資源などのあり方を明確にするために、住民、事業者、行政などが協働で策定する指針のこと。

グリーンツーリズム

自然豊かな地域や農村にゆっくりと滞在し、自然体験、農業体験などを通して、地域の人々や文化、自然との交流を楽しむ旅行の形で、農村の活性化、農村や自然環境の保全、都市住民の余暇活動を実現することをめざす。

景観条例

自然的・歴史的・人文的等の景観を保全・形成し、その景観と調和した環境を確保・整備すること等を目的として、各地方自治体の定めた条例。景観法が2005年に施行されて以降、景観行政団体である地方公共団体は条例で景観問題に対して大きな役割を果たすことが可能になった。

コミュニティガーデン

街角の小広場などみんなで作るまちの庭づくりで、個人の庭とは違った新しい、より多くの楽しみや効果があるものとして、大切にしていこうとの考え方。「人と自然」「人と人」「人と地域」のよりよい関係づくりがテーマとなる。

コミュニティビジネス

地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取組みのこと。地域における創業機会、地域雇用を拡大するとともに、地域の自立・活性化、地域コミュニティの再生、住民の生きがいにもつなげると期待される。

● さ行 ●

循環型社会

資源の採取や廃棄が最小かつ環境への影響の少ないかたちで行われ、さらに、一度使用したものがくり返し再生、使用されるなど、環境への影響を最小にするようなしくみをもつ社会。

● た行 ●

地域自治

地域の住民が、自分たちの地域を自分たちの手で運営すること。そのためには、高齢者や子育て世帯などへの生活支援、健康づくり、防犯、防災など、地域にかかわるさまざまな分野で住民によるまちづくりが求められることになる。

地域福祉計画

地域福祉の推進を目的として、地域に住んでいるすべての人が安心してその人らしい自立した日常生活を送ることができるよう、地域の課題解決のための方法やそのしくみづくりについて定める計画。

ドメスティック・バイオレンス

夫や恋人といったパートナーから女性にむけられる暴力のこと。身体的暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力なども含まれる。親子間や、同居の高齢者と介護家族の間におこる「家庭内暴力」とは区別される。

● は行 ●

バイオスタウン構想

「バイオマス」は生物由来の資源を意味し、斑鳩町では、廃棄物の減量と再利用に取り組んでいる。生ごみや枝葉のたい肥化、廃食用油のバイオディーゼル燃料化や石鹼へのリサイクル、空き缶や落ち葉、廃食用油の回収によってポイントが貯まるエコポカード事業などをすすめている。

ビオトープ

野生生物が共存共生できるひとつの生態系をもった空間（＝ビオトープ）をつくることで、地域の自然環境の保全と再生をはかること。この考えに近い例として、生き生きプラザ斑鳩の庭に水辺が再生されている。

● ま行 ●

まちなか観光

世界遺産や有名な寺社仏閣、景勝地などを大型観光バスで訪れる従来の観光に対して、まちそのものを観光の対象として散策する観光のあり方。こうした観光では、町並み、農村風景、商店街、地域産業、芸術文化、歴史、地域のくらしなど、その地域の固有の文化すべてが観光資源となる。